



議会だより

●発行：鹿児島県知名町議会
●編集：議会広報委員会
●発行日：令和2年4月10日
●〒891-9295
鹿児島県大島郡知名町知名307
TEL 0997-93-3119



今年の予算 子育てしやすい魅力的なまちづくり

主な内容

◆ 第1回定例会のあらまし／令和2年度当初予算	2～3
◆ 一般質問	4～10
◆ 第1回定例会で審議された案件	11
◆ 予算審査特別委員会	12
◆ 自治功労表彰／沖永良部と論地区議会議員大会	13
◆ 議会の動き／編集後記	14



ちなボー
知名町マスコットキャラクター

令和2年 第1回(3月)定例会

第1回定例会のあらまし

知名町議会第1回定例会は、3月3日から9日までの日程で開かれました。今定例会では、今井町長の令和2年度施政方針表明があり、町政全般に対する一般質問に6名の議員が登壇し、町政発展のための活発な議論が交わされました。補正予算審議では、一般会計(第4号)歳入歳出それぞれ183、800千円増額、国民健康保険特別会計(第3号)歳入歳出それぞれ21、386千円増額、介護保険特別会計(第3号)歳入歳出それぞれ22千円増額、後期高齢者医療特別会計(第1号)歳入歳出それぞれ1、354千円増額、下水道事業特別会計(第2号)、農業集落排水事業特別会計(第2号)歳入歳出それぞれ14、500千円増額、水道事業会計(第2号)の令和元年度補正予算7件を原案可決しました。

議案審議では、知名町税条例の一部を改正、知名町企業立地等促進条例の制定、令和2年度を初年度として向こう7年間の本町の基本計画である第6次知名町総合振興計画の策定について等を原案可決、工事請負契約(知名C団地C棟新築工事)1件を可決しました。また、令和2年度当初予算については、一般会計、特別会計及び水道事業会計の当初予算10件を原案可決しました。選挙管理委員会委員及び補充員の選挙については、委員4名、補充員4名を決定しました。陳情は新規4件のうち、2件を継続審査、2件を採択し関係機関へ意見書を提出しました。

令和2年度当初予算

一般会計・特別会計・水道事業会計合わせて

総額84億1,277万円

令和2年度 一般会計当初予算

(単位：千円)

歳入				歳出			
科目名称	本年度	前年度	比較	科目名称	本年度	前年度	比較
町税	488,420	486,986	1,434	議会費	89,079	91,339	△2,260
分担金及び負担金	58,656	95,229	△36,573	総務費	811,064	739,556	71,508
使用料及び手数料	83,265	95,804	△12,539	民生費	1,400,682	1,404,394	△3,712
財産収入	52,117	55,796	△3,679	衛生費	288,552	254,262	34,290
寄附金	30,061	30,061	0	農林水産業費	782,660	798,683	△16,023
繰入金	265,358	219,000	46,358	商工費	132,336	87,098	45,238
繰越金	20,000	50,000	△30,000	土木費	565,597	560,303	5,294
諸収入	27,763	29,086	△1,323	消防費	212,361	138,755	73,606
◎自主財源計	1,025,640	1,061,962	△36,322	教育費	651,327	992,963	△341,636
地方譲与税	54,093	51,387	2,706	災害復旧費	108	95	13
利子割交付金	606	867	△261	公債費	991,734	836,152	155,582
配当割交付金	737	893	△156	予備費	10,000	10,000	0
株式等譲渡所得割交付金	471	742	△271	諸支出金	0	0	0
法人事業税交付金	9,163	0	9,163	歳出合計	5,935,500	5,913,600	21,900
地方消費税交付金	104,983	104,607	376				
自動車取得税交付金	0	4,396	△4,396				
環境性能割交付金	4,176	4,396	△220				
国有提供施設等所在市町村助成交付金	21,944	18,479	3,465				
地方特例交付金	1,998	815	1,183				
地方交付税	2,923,000	2,774,000	149,000				
交通安全対策特別交付金	710	757	△47				
国庫支出金	449,116	496,485	△47,369				
県支出金	567,302	473,900	93,402				
町債	771,561	919,914	△148,353				
◎依存財源計	4,909,860	4,851,638	58,222				
歳入合計	5,935,500	5,913,600	21,900				

令和2年度一般会計当初予算総額は5,935,500千円で前年度比21,900千円増の0.4パーセントの伸びとなっております。



令和2年度 特別会計・水道事業会計の当初予算

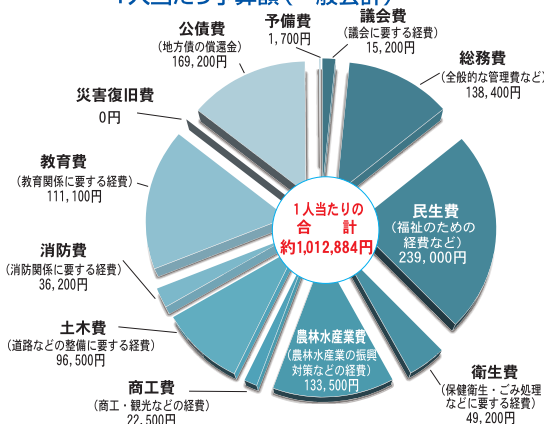
(単位：千円)

区 分	本 年 度	前 年 度	比 較
国民健康保険特別会計	979,535	1,011,539	△ 32,004
介護保険特別会計	808,603	826,745	△ 18,142
後期高齢者医療特別会計	79,285	80,590	△ 1,305
奨学資金特別会計	17,750	19,639	△ 1,889
下水道事業特別会計	144,729	139,291	5,438
農業集落排水事業特別会計	191,966	174,258	17,708
合併処理浄化槽事業特別会計	27,143	25,944	1,199
土地改良事業換地清算特別会計	41,605	81,581	△ 39,976
水道事業会計	186,657	187,483	△ 826
合 計	2,477,273	2,547,070	△69,797



町民1人当たりの予算額(令和2年3月1日現在の住民基本台帳で算出)5,860人

1人当たり予算額(一般会計)



【予算の分類(会計上の区分)】

地方公共団体の会計は単一のものが原則ですが、地方公共団体の事務は複雑多岐にわたっており、1つの会計ですべてを処理することとなると、予算の理解を困難にします。そのため、本町では一般会計、特別会計および企業会計の3種類の会計を置いて、財政の明確適正化を図っています。

○ 一般会計

福祉、教育、道路整備など地方公共団体が基本的に行うべき事業のための会計です。

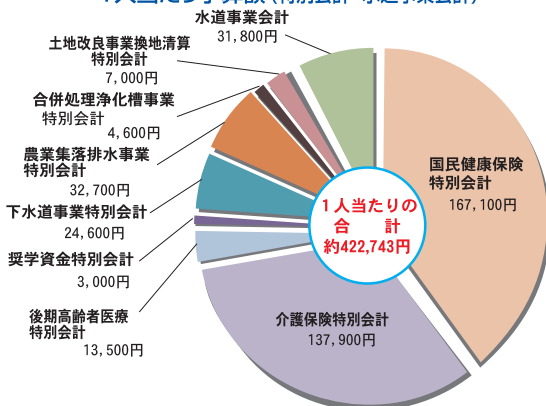
○ 特別会計

特定の事業を行うための歳入歳出を、一般会計と区別して別個に処理するために、条例に基づき設置します。本町には、国民健康保険特別会計など8の特別会計があります。

○ 企業会計

一般的には、株式会社などの民間企業における会計のことを指しますが、地方財政上は、地方公営企業法の全部または一部が適用される公営企業の会計のことをいいます。本町には、水道事業会計があります。

1人当たり予算額(特別会計・水道事業会計)



一般質問

6名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町の各方面にわたって一般質問が行われました。
5ページからの掲載の内容は、各質問者が執筆した主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。
(質問順に掲載)

● 今井 吉男議員

1. 本町における低炭素社会への取り組み状況について
2. 年度末が迫る中、過去の一般質問での執行部答弁「検討課題」に対する検証について

● 中野 賢一議員

1. 少子化対策等について
2. 地方の過疎化対策等について
3. 地元業者等について

● 新山 直樹議員

1. 沖永良部空港について
2. 道路整備について
3. 通学路について

● 名間 武忠議員

1. 元気、活力ある地域・集落づくりについて
2. 公共施設の適正管理について
3. 文化ホール周辺に公共施設の集約化について

● 西 文男議員

1. 町防災計画等について
2. 町政全般について

● 外山 利章議員

1. 第6次総合振興計画について
2. 公共交通(バス)の維持および活用について

議会を傍聴して
みませんか。

議会の定例会は、年4回(通常3月、6月、9月、12月)開催され、必要に応じて臨時会が開催されます。

提出された議案は、本会議において提案理由の説明、質疑、討論、採決されます。また、議員が一般質問を行うのも本会議です。

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見ることができますので、お気軽にお越しください。

インターネット中継

議会の様様をインターネット配信しています。パソコンやタブレット端末などでライブや過去の中継記録映像をご覧ください。知名町ホームページ、議会で中継のバナーをクリックしてください。

今井吉男
議員



低炭素社会への取り組み状況は

町長／新庁舎への地中熱導入

問 役場新庁舎において、地中熱をどう活用するのか、また導入費用は。

答 町長 役場新庁舎において、地中熱を利用した建物内空調に活用する計画で、事業費は2億円で、補助事業を導入した場合でも5千万円は一般財源が必要ですが、一年間の電気使用料が約6百万円の減額となり、二酸化炭素減量は93トン減少する見込み。

問 再生可能エネルギーの導入計画は。

答 町長 風力、太陽光、地熱などの地球資源の一部など、自然界に常に存在するエネルギーで、令和2年度に新庁舎への地中熱導入の調査を実施する。



問 ゴミの減量化や資源化は。

答 町長 知名町におけるクリンセンターへのゴミ搬入量は、平成30年度は、約4千トンで増加傾向にあり、生ゴミだけでなく燃えるゴミを堆肥として活用する計画。

問 燃料電池自動車を導入し、先ずは役場公用車を切り換え

答 町長 燃料電池自動車は価格や水素普及の壁があるので、先ずは電気自動車を役場公用車に導入する計画。

問 小型風力発電機の導入は。

答 町長 国土交通省の令和2年度交付決定次第、本事業に取り組みます。

問 地球温暖化の影響で台風の大規模が懸念されるので、出来ることから実行すべきでは。

答 町長 省エネや節電の取り組みを行うとともに、役場においては、5月から10月までの期間クールビズを実施している。

問 さとくぎの害虫を駆除する目的で設置した「誘蛾灯」は、管理が行き届いていないにもかかわらず、毎月電気料

金が発生しているが、管理を徹底すべきでは。

答 町長 維持管理として、蛍光灯や集虫袋の交換と使用不能灯の撤去等を行う。



誘蛾灯の管理徹底を

問 生ゴミの減量化事業で導入した「おきのえらぶ食品リサイクルセンター」の液肥を農業で有効利用するために、「有機物供給センター」を運営する農林課への業務移管はいつからするの。



おきのえらぶ食品リサイクルセンター

答 町長 この件については、平成30年12月議会において、「土づくり」の観点から一本化ということで検討会を開催しましたが、現状維持の結果となった。

問 平成7年3月竣工の町立武道館は、平成16年9月5日の台風被害により、約16年間手つかずの状態に放置されているが、近くの公共下水道処理施設から排出される乾燥汚泥を利用する堆肥センターとして活用すべきでは。

答 教育長 現在、武道館は1月からスケートボード愛好会に必要な条件を付して、無料に使用を許可している。



台風被害を受けた町立武道館

中野賢一 議員



少子化対策等について

町長／社会的な様々な要因を踏まえた総合的な施策推進が必要

少子化対策等について

問 我が国の少子化の進行、人口減少は深刻さを増しており、まさに国難とも呼ばれる状況にあり、町として取り組を進めていると思われるが、どのような取り組み等がなされているのか。今後の少子化対策について伺います。

答 町長 少子化対策を進める上では、社会的な様々な要因を踏まえた施策を総合的に推進する必要があります。子どもを産み育てることをためらう要因として、経済的な負担の大きさ、家庭と仕事の両立の難しさ、育児についての不安などが挙げられ、それらの経済的あるいは心理的な不安を軽減するため、本町では、妊娠・出産から乳幼児期・学童期へと子育て支援の充実を図っております。具体的な取り組み内容としては、医療費助成事業や病児・病後児保育事業及び児童発達支援事業の実施、また、放課後児童クラブの整備など、経済的な負担軽減対策だけでなく、特別な支援を要する子供及びその家族への支援も含め、子供を安心して育てられるような子育て支援の充実を図っております。

地域少子化対策重点推進事業について

問 町長 地域少子化対策重点推進交付金は、都道府県が結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」の為に、取り組むうち、結婚に対する取り組み及び結婚・妊娠・出産・乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり、気運の醸成の取り組みを支援すると共に、婚姻に伴う新生活を経済的に支援する交付金事業となっております。実施事業として「地域少子化対策重点推進事業」と「結婚新生活支援事業」があり、前者は補助率二分の一、市町村への交付上限1,000万円、後者は夫婦共に34歳以下かつ世帯所得340万円未満の新規に婚姻した世帯が対象で、補助率の二分の一、交付金上限・事業費ベースで1世帯当たり30万円であります。

地方の過疎化について

問 移住者の受け入れについて。

答 町長 奄美広域事務組合の主催事業として「沖永良部フリイ滞在プログラム」を行っており、令和元年度に1組2名の参加者がありました。参加者には事前に要望を

聞いてご案内しています。今回の参加者は、子育て施設の見学を要望されたので、上城小学校と知名小学校を見学、教長・学校で教育課との面談、観光協会で面談を実施した後、町内視察を実施。次に、国交省主催の「アイランド2019」に参加。奄美群島のブースを設置し、相談件数22件、36名の方が相談に来られ、内、沖永良部島を希望された方は2組2名で、その2名はその後来島されて移住したいとの声を聞いております。また両町の動きとして、移住定住協議会設立に向け検討を行っています。令和3年度からの運用開始を目指しており、窓口をおきのえらぶ島観光協会内に設置することを見込んでおります。今後は、常駐する日程、時間帯等の細かいことについて引き続き協議していく予定としております。

空き家対策等について

答 町長 空き家は周辺に防災・防犯、景観、衛生、生活環境等悪い影響を与えているとされています。本町では、町民等の生命・身体・財産・生活を保護するとともに、空き家等の活用を促進し、安全安心なまちづくりを目的として空き家等対策の推進に関する特

別措置法「平成26年法律第127号」に伴い、昨年9月議会の議決を得て「知名町空き家等対策の推進に関する条例」を制定しております。今後は区長等の協力をいただき、実態調査・把握をし、把握した情報を基に、解体や活用などを行うこととします。

若者が住みやすい街づくりについて

問 町長 令和2年度からスタートします第6次知名町総合振興計画の参考とするため、昨年において知名町が抱える課題を探るためアンケート調査を行い、その中で「今後どのような町になっていくべきか」の問いに「居住・生活環境が整ったまち」「医療が充実しているまち」「働きがいがあるまち」「住みよい町になるため、今後7年間に力を入れる分野は」の問いに「子育て・教育・文化の分野」「保健・医療・福祉の分野」「産業振興・経済の分野」が多く生活に直結した自分ごととして捉えられている。これらの結果は町民の高い意見ですが、若者の意見と同様ではと考えており、今後はこれらの結果を参考に施策も検討して行きたいと思っております。

新山直樹
議員



沖永良部空港ビルの増改築の計画は

町長／令和2年度地域振興推進事業において
拡張工事要望を提出

問 出発ロビー、到着ロビーの増改築の計画はどのようなものか。

答 町長Ⅱ現在、和泊町企画課が事務局となり、令和2年度地域振興推進事業において出発ロビー、到着ロビーの拡張について要望を提出しております。関係する知名町、和泊町、沖永良部空港ビルで事業費負担割合について調整を行っており、利用者の利便性や安全性について考えても早急に解決する課題と認識し、取り組んでいきます。



沖永良部空港出発・到着ロビー



問 停電時の対応、対策はどうなっているのか。

答 町長Ⅱ沖永良部空港ビルでは発電機を所有していないため、台風が近づいてきました

ら可搬の発電機をレンタルして、停電に備えております。

問 AEDの設置状況はどうなっているのか。

答 町長Ⅱ沖永良部空港ビルには、AEDは設置されておられません。ただ、毎年救命訓練として沖永良部消防署員を講師に職員でAEDの使用方法を学んでおりますが、緊急性が高く設置が必要だと思いますので早めの対応をしてまいります。

問 計器着陸装置の設置に向けた要望、要請は現在どうなっているのか。

答 町長Ⅱ鹿児島県の港湾空港課に確認をしたところ、JACからも安全性向上のための滑走路灯、滑走路末端灯等の設置について要望がありますが、沖永良部空港の灯火設備につきましても、航空局制定の飛行場区分に応じた灯火設置基準を満たしているため、現在のところ整備の予定はありませんが、視界不良で欠航などがありましたので、今後にも設置に向けて関係機関と協議、検討してまいります。

問 県道、国頭知名線は、本町西方面からの交通量も多く、歩道が未設置のため通学生及

び地域住民、特に高齢者のための安全が確保されていない状況などの理由から、道路整備要望書が提出されていますが、現在どうなっているのか。



知名字西側県道

答 町長Ⅱ知名町では、県関連事業として、道路改良事業（田皆工区）と特定交通安全施設等整備事業（久志検工区）の2事業を実施しています。知名字から、平成26年6月26日に道路整備要望書の提出を受け、平成26年7月22日に県沖永良部事務所建設課に提出し受理されましたが、その後、その進展が無いのが現状ですが、これからも隔年ごとに地区からの要望書を出していくため、ただけたら町当局の方でも県の方に要望して行きたいと思

います。

問 小児、瀬利寛方面からの児童は、郵便局の方から正門までの道路を通路として使用しており、下校の時、間帯には車の往来があり、危険だと思われます。運転手の方に周知させるために路面に注意喚起の標示はできないか。

答 町長Ⅱ指摘の場所は、町道小米部落内線の一部で郵便局を曲がり知名小学校までの区間110m、周辺には民間住宅、貸家や郵便局への来客駐車場があり、道路幅員が狭く車両の離合に苦慮しており、また、児童が下校の時間帯には危険を感じていると聞いておりますので、今後現場を把握・検証し、運転者への注意喚起の方法を関係者へ交えて検討して行きたいと考えております。



通学路面に注意喚起の表示を

国が財政支援する集落支援員制度の導入について

町長／字の推薦等を踏まえ検討



名間武忠 議員

元気、活力ある地域・集落づくりについて

問 町内の限界集落の有無、及び合計特殊出生率について。

答 町長 令和2年1月1日現在の65歳以上の人口は、2,141人、高齢化率は36.48%、最も高い字は58.33%であり、50%を超える限界集落は5字となっている。合計特殊出生率は、2.02%です。

問 現在、活動している「地域おこし協力隊」の令和2年度以降の継続について。

答 町長 現在活動している2名の内一人は、3年の任期を3月で終え、一人は、引き続き活動を行います。令和2年度から新たに2名を新規に採用し、企画振興課と教育委員会に在籍を予定しています。

問 国の財政支援、一人あたり350万円の集落支援員制度の導入は図れないか。

答 町長 集落の主体性を尊重しつつ、区長会等を通じ集落の在り方についての話し合い、必要施策や字からの集落支援員の推薦等を踏まえ検討していきます。

問 集落と行政の情報共有、区長との連携や地域・集落づくりを支援する体制として、職務担当に役場職員を配置できないか。

答 町長 行政情報の共有については、区長会を通じ、行事や依頼等を行っており、地域づくりについては、職員へ集落活動への積極的な参加を促しております。また、台風等の災害発生後は区長と連携して、被害等の把握に担当職員を配置しています。

公共施設の適正管理について

問 中央公民館南側駐車場は、公共施設利用者の使用も多く、早急な舗装、車止め等の安全対策の整備をできないか。

答 教育長 財政が厳しい現在、アスファルト舗装、車止め等はできないが、水溜まり



中央公民館南側駐車場の整備を

ができないような路面補修を行い、砂利舗装等の整備を考えています。

問 町民体育館の西側と南側は、道路及び駐車場として利用されている。現状は砂利道、雨天時の水溜まり等、通行、駐車に支障を来し、危険性も高い。道路、駐車場として早急な整備をできないか。

答 教育長 敷地内の道路・駐車場は、必要に応じて建設有協会ボランティア等により、除草や凸凹箇所の補修を行っているのが現状です。財政を勘案しつつ、また、今後も建設有協会の協力を仰ぎながら、危険性の除去、環境美化に努めたいと思います。

問 大山野営場内のバンガロー、キャンプ施設の利用状況及び整備について。

答 町長 利用状況について。バンガローは、ケイビング等



大山野営場内のバンガロー

の団体の利用増、キャンプ施設は、減少傾向となっております。施設整備から20年以上を経過し、老朽化が進んでいるが、適正な維持管理に努めます。

問 老朽化の著しい武道館の改修の有無、及び民間活用に向けた公募はできないか。

答 教育長 今後も予想される台風被害や費用対効果等から再整備は不可能であり、公募については、再整備、防災面の貸し出し条件が整わず難しいと思います。

問 令和3年度完成予定の新庁舎への移転に伴い、現庁舎の建物・敷地の跡地利用計画について。

答 町長 跡地利用については、「まちづくり町民会議」に諮っているところであり、同会議内に付帯事項として検討されている商店街振興や、町の活性化となるものを想定しています。

問 新庁舎移転後の文化ホール周辺に行政施設の集約化はできないか。

答 町長 今後「まちづくり町民会議」や「住民説明会」等を通して、集約化を行う施設やその建設場所等について検討します。

西
文男
議員



町の防災計画について

町長／町の国土強靱化計画策定や鹿児島県無電柱化協議会への参加等を検討

問 沖永良部は台風の常襲地帯である。町の無電柱化推進について、今後の計画はどうなっているか。

答 町長 地球温暖化等の影響により、近年台風襲来が顕著に多くなっており、船の抜港等、食料品の調達に苦慮し、台風の影響で電柱の架空線が切断され、長期停電を余儀なくされ、住民生活に支障をきたしている。今後、町の国土強靱化計画策定や鹿児島県無電柱化協議会への参加等を検討して行く。

問 鹿児島県無電柱化協議会への参加はどのように考えているか。

答 町長 令和2年度に参加予定です。

問 災害時に指定されている町の避難場所において、AED設置状況はどうなっているか。

答 町長 AEDは突然の心肺停止を起こして倒れた人の命を救うことのできる医療機器として多くの人に認識されています。災害時の避難場所として指定されている施設で役場、町内各小中学校等の10箇所となっています。各字公民館も避難場所に指定されています。

が、住民への普通救命講習や設置した後の管理の問題などがあり設置はしていません。今後は消防署と連携した心臓マッサージ等の心肺蘇生法の応急手順訓練の普及に努めます。

問 字公民館には設置できないか。正名字は沖永良部消防本部に字区長名で訓練指導を依頼し、AEDの扱い方、心肺蘇生法等の講習を平成30年8月28日と令和元年9月6日、2回開催しておりますので、設置はいかがでしょうか。

答 総務課長 すべての子一気には難しい。AEDの機器があってもその機器を使える体制づくりが必要で全字の状況を見極めながら再度しっかりと方向性を示したいと思っています。

問 各避難所における非常用設備品について。

答 町長 各避難所の非常用設備品は平成27年度に各字公民館に非常用発電機を設置し、令和元年11月に避難所で使用するための布マットを全字に247枚配布し、予備で町として33枚保管しています。また、エアーマット2300枚も町で保管しております。今後避難所における備蓄

等を検討して参りますが、防災備蓄倉庫の整備や消防車輛の更新等もあり、財政状況を勘案しながら進めて行きます。

問 主要幹線道路の県道知名国頭線の屋子母道路の一部で側溝が傾いている箇所があり非常に危険である。早急に改修工事は出来ないか。

答 町長 昨年の9月議会でも、質問がありました県道の屋子母道路は、側溝が約30m間に渡って道路外側に傾斜しており危険な状態であり、県沖永良部事務所建設課に改修工事を要望しているが、管轄内の緊急性の高い箇所などを優先的に工事を行っているので、今年度実施は予算的に厳しいとの事です。



県道知名国頭線屋子母道路の早急な改修を

問 町の教育・文化の町宣言の看板が設置してある。あしびの郷入口・新城字看板改修はどうなっているか。

答 教育長 2箇所の看板については、今年度の補正対応も考慮しましたが、厳しいため、新年度の当初予算に計上致しました。新年度予算で速やかに対応したいと思えます。

問 緊急搬送時に町民の中には、沖縄医療機関等への搬送を希望される方も多いので、沖縄医療機関等への搬送は出来ないか。

答 町長 沖縄医療機関への搬送については県立大島病院での対応が困難な患者について沖縄県の医療機関へ搬送する場合があります。

問 今年になり鹿児島、沖永良部間の飛行機の欠航が多いと思うが、町として航空会社へ原因究明を行っているか。

答 町長 沖永良部空港の視界不良、機材故障等で欠航しているとのことです。JACとしてへの対応は、部品遅れがないように、メーカーへ対応を依頼し、また、故障が出ないように整備を徹底しているとのことでした。

第6次総合振興計画が描くまちの未来像とは

町長／「21の暮らしを大切に、21の未来を創る
子や孫が誇れるまちづくり」をビジョンに
まちづくりを推進



外山利章 議員

総合振興計画について

問 今回の総合振興計画では21ある字の活性化が大きなビジョンとして位置付けられている。町としてどの様に関わっていくのか。

答 町長Ⅱ字の独自性、自主性を大いに尊重しながら、町がバックアップすべき点は積極的に関わっていききたい。

答 企画振興課長Ⅱ令和2年度の「地域おこし企業人」事業を活用して具体的な内容を詰めていきたい。

問 町の目指す基本理念として「環境と調和した持続可能な地域づくり」が位置付けられている。具体的な対策に取り組むきっかけとして「気候非常事態宣言」を行い、その姿勢を示してはどうか。



答 町長Ⅱ環境に配慮した島づくりの意識を共有するためにも必要な宣言だと思われる。勉強会を立ち上げ、先駆者となるよう宣言に向け動いていきたい。

問 今回の計画は基本構想（理念、理想）で構成されている。計画実現に向けた具体的事業の実施計画はどのように示されるのか。

答 企画振興課長Ⅱ各年度の計画、事業が載っている過疎地域自立促進市町村計画で示したいと考えています。

問 過疎計画が町民の目に触れることはまずない。どの事業かどの理念に結びついているか、わかりやすく町民に示す必要があるのでは。（例：北海道ニセコ町予算説明書）

答 企画振興課長Ⅱ町民への示し方について、広報的な含めニセコ町の予算書も参考にさせていただきながら検討させていただきたい。

問 計画の進捗管理、評価手法はどのようなものか。

答 町長Ⅱ毎年の町民アンケートにより改善度も把握。職員

による「事業振り返りシート」による内部評価の実施。加えて外部委員による進捗管理、外部評価について検討いたします。

問 今後7年間のまちづくり計画の理念を町民全体で共有することが重要。ダイジェスト版でも全戸配布するべきでは。

答 町長Ⅱ全世帯への周知方法として広報的な「ミッシェン、アクションプラン」掲載を検討しております。また製本版は地域づくりの中心となる区長、各字公民館、小中高校へ配布を予定しています。

問 公共交通（バス）の維持および活用について

答 町長Ⅱ公共交通の重要性は今後さらに増すものと考えているが、運営維持に向けた取り組みは。

問 町長Ⅱ公共交通活性化協議会を通じ関係機関が連携をとって利便性の向上、事業の改善に向け積極的な取り組みを行うってまいります。

答 バス企業団では児童生徒のバス利用に対する助成制度を設け利用促進を図っている。さらなる児童、生徒のバス利

用（スポーツ少年団、図書館利用など）にむけた環境整備が必要と考えるが行政としてどう対応するのか。

答 教育長Ⅱ習い事や地域行事の参加にバスを利用してもらえようPTA連絡協議会や校外生活指導連絡協議会等と協議し、子供たちの利用しやすい環境について検討を進めていきたい。

問 路線バスを利用した観光ルートの開発および交流促進に向けた取り組みを進めては。

答 町長Ⅱ地元住民しか知らない多くの観光資源があると思いますので、観光バス向けの観光協会、両町担当、各字代表者等と連携し、検討したい。



路線バスを利用した取り組みを

令和2年第1回定例会議決結果

議案番号	付 議 件 名	議決結果
議案第2号	令和元年度知名町一般会計補正予算（第4号）について	原案可決
議案第3号	令和元年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第4号	令和元年度知名町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第5号	令和元年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第6号	令和元年度知名町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第7号	令和元年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第8号	令和元年度知名町水道事業会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第9号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第10号	知名町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	知名町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	沖永良部与論地区広域事務組合からの脱退の予告の撤回について	原案可決
議案第13号	知名町税条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第14号	知名町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第15号	知名町フローラルパークの指定管理者の指定について	原案可決
議案第16号	知名町企業立地等促進条例の制定について	原案可決
議案第17号	知名町振興計画審議会条例及び知名町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第18号	知名町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第19号	知名町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第20号	知名町老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第21号	知名町道路線の廃止について	原案可決
議案第22号	知名町辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第23号	知名町過疎地域自立促進市町村計画の変更について	原案可決
議案第24号	第6次知名町総合振興計画の策定について	原案可決
議案第25号	令和2年度知名町一般会計当初予算について	原案可決
議案第26号	令和2年度知名町国民健康保険特別会計当初予算について	原案可決
議案第27号	令和2年度知名町介護保険特別会計当初予算について	原案可決
議案第28号	令和2年度知名町後期高齢者医療特別会計当初予算について	原案可決
議案第29号	令和2年度知名町奨学資金特別会計当初予算について	原案可決
議案第30号	令和2年度知名町下水道事業特別会計当初予算について	原案可決
議案第31号	令和2年度知名町農業集落排水事業特別会計当初予算について	原案可決
議案第32号	令和2年度知名町合併処理浄化槽事業特別会計当初予算について	原案可決
議案第33号	令和2年度知名町土地改良事業換地清算特別会計当初予算について	原案可決
議案第34号	令和2年度知名町水道事業会計当初予算について	原案可決
議案第35号	第2期知名町子ども・子育て支援事業計画について	原案可決
議案第36号	工事請負契約の締結について（知名C団地C棟新築工事）	可 決
選挙第1号	知名町選挙管理委員及び同補充員の選挙について 委 員（西田盛起・村北正一郎・山下久則・城村富忠） 補充員（川野兼一・東 哲次・藤田英博・宮當しず江）	決 定
陳情第2号	新たな過疎対策法の制定に関する議会意見書の提出について	採 択
陳情第4号	宇田美川地区及び宮田地区に畑灌施設の早期完成を願う陳情書について	採 択
発委第1号	新たな過疎対策法の制定に関する議会意見書の提出について	原案可決
発議第1号	議員派遣について	決 定
決定第1号	閉会中の継続審査の件について	決 定
決定第2号	閉会中の継続調査の件について	決 定

令和2年度 当初予算審査特別委員会

予算審査に当たっては、「予算審査特別委員会」を設置し審議を行いました。大蔵哲治委員長、外山利章副委員長のもとで慎重な審議が行われ、委員長報告のとおり、原案可決されました。報告書には土地改良事業換地清算事務費について、

1. 換地清算業務の早期の執行
2. 協議内容の議会への報告
3. その他業務の適正性、効率性の検証の3点の附帯意見を付しました。

令和2年度一般会計当初予算は、令和2年度から7年間にかけて新たなまちづくりや町政運営の指針となる「第6次知名町総合振興計画」がスタートする。この計画に基づいて「町民が主役子や孫に誇れる潤いと活力ある町」実現の取り組みを確実に進める予算編成となりました。

予算総額は、5,935,500千円、昨年度比21,900千円、0.4%の増額となりました。

(詳細は2～3ページでご参照下さい。)

令和2年度の一般会計予算の主な事業

航路航空路運賃軽減等事業負担金	23,830千円
-----------------	----------

奄美群島住民及び準住民（大学卒業まで）を対象とし、割高な奄美群島航空路・航路運賃の負担軽減を図る。

ふるさとまちづくり基金費	46,129千円
--------------	----------

ふるさとまちづくり基金への積立及び返礼のための報償費等。

地域おこし企業人交流事業費	6,600千円
---------------	---------

民間企業の人材を活用し、地域の魅力や価値を発見、向上させるための取り組み。

定住促進空き家活用事業費	3,885千円
--------------	---------

空き家を活用した定住促進。

環境・生活インフラインベーション事業費	69,698千円
---------------------	----------

環境に配慮したまちづくりを推進するための風力発電、蓄電池等の活用に向けた導入、実証。

子ども子育て支援交付金事業工事請負費	12,636千円
--------------------	----------

田皆放課後児童クラブ整備（旧田皆幼稚園改修）工事。

障害児施設給付費	81,745千円
----------	----------

発達の程度により支援が必要な児童が、療育や機能訓練等を受けられるよう障害児施設への通所費を給付。

安心な出産・子育て支援事業費	1,673千円
----------------	---------

児童島外療育等旅費助成。ハイリスク妊産婦出産支援助成金。

産科医療体制確保支援事業費	3,000千円
---------------	---------

新たな産科医を確保することにより安心して出産できる環境を整えるため、産科医の確保支援を行う。

下平川小学校屋内運動場大規模改造事業費	173,612千円
---------------------	-----------

自治功勞表彰

平 秀徳議長が町村議会議員として15年以上在職し功勞が認められ、全国町村議会議長表彰を受けました。3月定例会の開会前に、名間副議長から表彰状が伝達されました。



沖永良部・与論地区議会議員大会

(知名町開催)



提出議題を朗読する大蔵哲治総務文教常任委員長

2月3日、第28回沖永良部・与論地区議会議員大会が知名町フローラル館で開催される。現在直面している課題が各町議会から提出され、その重要性に鑑み全会一致で採択されました。

①アイランドホッピングルートの運賃軽減並びに利便性の向上を(知名町)

知名町提出議題は、平成30年7月にアイランドホッピングルートが開通され、大幅な旅客数が増加となっている中、沖永良部～沖縄間路線の航空運賃が割高であり航空運賃の軽減拡充と、沖永良部～奄美への直行便の開通です。現在の沖永良部～徳之島～奄美大島の路線のみでは、座席の確保が困難な状況にあり、地域内外の交流はもとより、関係人口の創出、定住に繋がるような施策として、自立的な発展へさらなる一歩が踏み出せるよう上記2点を強く要望するものです。

②離島地域における産婦人科医師確保に係る予算措置を(和泊町)

③主任介護支援専門員研修受講要件に関する規制等の緩和措置について(与論町)

第28回沖永良部・与論地区議会議員大会の提出議題の採択を受けて2月5日、三反園 訓鹿児島県知事へ沖永良部・与論地区議会連絡協議会で要望書を提出しました。

平成5年、第1回沖永良部・与論地区議会議員大会が知名町で開催されてから、回を重ねること28回、その時代に即した要請活動を展開し、多くの課題解決につながった大会が今回をもって閉幕することになりました。

1月

- 28日・南三町議員大会事前打ち合わせ会（ウエルビニー鹿兒島）
- 25日・南西航空音楽隊ファミリコンサート（あしびの郷・ちな）
- 23日・令和2年第1回臨時議会（あしびの郷・ちな）
- 17日・与論町新庁舎視察（外山委員長・根金副委員長）
- 16日・第6次知名町総合振興計画審議会（知名町商工会）
- 9日・令和元年度知名町献血推進協議会（知名町商工会）
- 6日・知名町役場仕事始め
令和2年知名町消防出初式（知名漁港）
- 2日・第45回町内一周駅伝大会
成人式（あしびの郷・ちな）
金刀比羅宮新春祭（はみやま神社）

12月

- 10日・令和元年第4回議会定例会開会
- 11日・令和元年第4回議会定例会2日目
- 12日・令和元年第4回議会定例会閉会
- 19日・知名町子ども・子育て会議
- 20日・令和元年第3回バス企業団議定例会
- 23日・令和元年沖永良部与論地区広域事務組合議会第2回定例会
- 27日・知名町役場御用納め

3月

- 3日・令和2年第1回議会定例会開会
- 2日・沖永良部高等学校第70卒業式

2月

- 3日・沖永良部・与論地区議会議員大会・議員研修会（ウエルビニー鹿兒島）
- 7日・消防新年会
- 8日・令和2年産春植・株出推進大会（南栄糖業㈱）
- 11日・令和2年産ばれいしよ「春のささやき」出発式（JA花き出荷場）
- 13日・大島郡市町村議会協議会・各種協議会（奄美観光ホテル）
- 14日・令和元年度第3回学校給食センター運営委員会
- 17日・知名町子ども・子育て会議（あしびの郷・ちな）
- 19日・第6次知名町総合振興計画審議会（知名町商工会）
- 25日・議会運営委員会
議会勉強会
国保運営協議会

1月

- 28日・町村議会議員研修会（ウエルビニー鹿兒島）
- 31日・知名町・和泊町町と今帰仁村との友好都市提携調印式（今帰仁村）



議会活動 （議会勉強会）

知名町議会では、定例会が開催されない月に、情報収集や共通理解を図ることを目的に議会勉強会を開催し、情報共有に取り組んでいます。（令和2年1月・2月の勉強会の様子）

編集後記

風薫る季節となりました。町民の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和2年度の新学期が始まり、小学校、中学校、高等学校に入学されました児童、生徒及び保護者の皆様、誠におめでとうございます。気持ちを新たに部活動や勉強に励んで下さい。

今回の議会は、令和2年度の当初予算を中心に、知名町の方向性を決定する重要な議案に活発な質疑応答が行われ議決されました。今後は、可決された予算が適正に執行されるように議会全体でしっかりと監視してきたいと思います。

ところで、新型コロナウイルス感染症拡大防止

対策により、各種催事が中止や規模縮小して実施されておりますが、皆さんもご存じの通り東京五輪、パラリンピックについては一年程度の延期という事になりました。鹿児島国体ではパワーリフティング競技が本町で開催される予定です。また、6月には大島地区消防操方大会が知名漁港で開催されます。この感染症の早期収束により予定された行事が行われることを願い、団員の皆様には日頃の練習の成果を発揮し、優勝目指して頑張ってくださいと思います。

結びになりますが、本年度も変わらぬご指導、ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

議会広報委員 新山 直樹